

平成 30 年度 第 2 回昭島市環境審議会  
会議録（要旨）

[開催日時] 平成 31 年 3 月 28 日（木） 18：30～20：20

[開催場所] 昭島市役所 3 階庁議室

[出席者]

- 1 委員：椎名会長、長瀬副会長、安部委員、尾崎委員、亀卦川委員、倉水委員、田中(近)委員、福永委員
- 2 事務局：池谷環境部長、吉野環境課長、小林係長（計画推進係）、光畑係長（環境保全係）、小沢係長（水と緑の係）、流石主事、橘主事

[欠席者]

委員：小野沢委員、桐谷委員、田中(利)委員、降旗委員

[議事要旨]

- 1 開会
- 2 議題  
昭島市の水施策について 【資料 1】
- 3 報告
  - (1) 第 11 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について 【資料 2】
  - (2) 平成 30 年度 市内クリーン運動実績 【資料 3】
  - (3) 平成 30 年度 あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実績 【資料 4】
  - (4) 平成 29 年度 苦情件数について 【資料 5-①】  
平成 30 年度 苦情件数について 【資料 5-②】
  - (5) 平成 30 年度 犬のしつけ方教室実績 【資料 6】
  - (6) 平成 30 年度 花の応援事業（花苗配布）について 【資料 7】
  - (7) 平成 30 年度 奥多摩・昭島市民の森事業について 【資料 8】
  - (8) 平成 30 年度 ウッドチップ配布事業実績 【資料 9】
  - (9) 平成 31 年度 主な環境課の事業一覧（予定） 【資料 10】
- 4 その他
- 5 閉会

[配付資料]

- 資料 1 昭島市の水施策について（平成 29 年度実績）  
資料 2 第 11 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について  
資料 3 平成 30 年度市内クリーン運動実施報告書  
資料 4 平成 30 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実施報告  
資料 5-① 平成 29 年度苦情件数  
資料 5-② 平成 30 年度苦情件数（平成 31 年 1 月末現在）  
資料 6 「平成 30 年度犬のしつけ方教室」実績報告  
資料 7 平成 30 年度花の応援事業（花苗配布）について

- 資料 8 平成 30 年度奥多摩・昭島市民の森事業について
- 資料 9 平成 30 年度ウッドチップ配布事業について
- 資料 10 平成 31 年度 主な環境課の事業一覧（予定）

## [発言要旨]

### 1 開会

事務局職員の異動について（新任の光畑係長を紹介）

### 2 議題

昭島市の水施策について

#### 【事務局による説明（要旨）】

（資料 1、小林係長による説明）

平成 29 年度の水施策の実績について、分野別に特徴的な施策の説明を行った。

- ・地下水 「漏水対策事業、上水道普及啓発活動、昭島市民の森事業、岩泉・昭島友情の森活動」
- ・雨 水 「雨水貯留槽設置助成」

椎名会長 湧水量調査の傾向は。

吉野課長 雨量や宅地化の影響に伴い、冬場は枯れてしまうところもある。

椎名会長 かん養域がわかっているなら、申請による施策ではなく、積極的な施策を実験的にどこか 1ヶ所で行ってもよいのではないか。その時どのような効果があるか、前後比較できると思う。

吉野課長 雨水浸透施設については、下水道課で実施している。面積が広く、建物を建てる時に設置しなければならないので、申請が少ないのが現状である。

小林係長 本日欠席の小野沢委員より、柴崎分水の件でご提案を頂いた。年 3 回程度、小川のごみを定期的に回収できないか。地域住民・自治会へ働きかけ、あるいはアダプト事業ベースでの清掃ボランティアを環境課が仕掛けてみては如何か。とのことである。

椎名会長 柴崎分水の昭島分はどこからどこまでか。

小沢係長 松中橋に玉川上水からの取り口があり、そこから東に行くとスーパーマーケットのあたりで暗渠になっている。その後、立川基地跡地を回り柴崎町に抜けている。

吉野課長 全体 2.5 km、うち約 1 km が開渠。残りは暗渠。

椎名会長 委員の意見を取り入れ、クリーンアップの取組みに入れてはどうか。

吉野課長 何らかの方法があれば。

椎名会長 水道管の老朽化が問題になっているが、取替えはどれ位進んでいるのか。

吉野課長 耐震化が進んでおり、耐震化率はかなり高い。そのため、漏水の件数も減少している。

長瀬副会長 用水路のマップはあるのか。

吉野課長 総合基本計画に用水路の地図が掲載されている。

長瀬副会長 立川市との連携は。

吉野課長 柴崎分水でごみが詰まったりした場合は、清掃を合同で実施している。

椎名会長 柴崎分水は昭島市では利用していないのか。

小沢係長 利用していない。

椎名会長 遠くの場所で利用するためだけというのは、珍しい例。

吉野課長 今は工業団地になったので、それ以前に畑があった頃は利用していたかもしれない。

椎名会長 工場がこれだけあるというのは、水質や用水は関係あるのか。水を多く使用する企業もあると思うが。

吉野課長 自己水源で汲み上げて使用している企業もある。

長瀬副会長 給食センターなど、全て自分で井戸を掘って、それを許可制でやっているのか。

吉野課長 井戸は一定の基準を満たさないと作れない。最近は新しい井戸を掘ろうとすると、400m位掘らないと許可が下りない。

椎名会長 浅いところでは許可が下りないと。ただ最近は東京都全体で水位が上がってきている。

池谷部長 昭島は企業が水を求めて入ってくることがある。企業のラグビーチームが昭島を本拠地にしたが、その本拠地の周りに研究所を作るのではないかという動きがある。

椎名会長 昭島の魅力という点では、そういうものを調べるのも良いかもしれない。企業も水を求めて昭島にやってくるという社会的評価を内外に発信してはどうか。

池谷部長 まさに市がやろうとしていることで、戦略的にPRしながら、人も企業も呼び込みたい。

椎名会長 小金井市はほとんどが湧水で、かん養域は北側に広がっているが、宅地化により恐らく無くなってくると思われる。しかし昭島はそのような状況ではないので、水に関する魅力を内外に広めてほしい。

長瀬副会長 結果的に住みやすいというのが良いと思う。水がおいしい、緑が多いと空気がきれいというイメージするが、訪れてみたいとするには、何か魅力あるものを見えるようにしないと。

椎名会長 例えば拝島駅などに噴水のように水が飲める施設、そのようなものを設置するのも良い。ヨーロッパなどに行くと思う。

長瀬副会長 湧水が出るようにして、ペットボトルで汲めるようにすれば良いのでは。

吉野課長 市議会でもマイボトルを持ってきて水を汲める場所を、というような意見を頂いている。

椎名会長 それを青梅線の駅毎に作っても良い。いずれにしても、駅を降りたときに「おいしい水が自慢なんだな」というのがわかるようなことを積極的にやったほうが良いかもしれない。アクアタワーのような施設を考えてはどうか。

長瀬副会長 水がきれいといえば、わさびがあると思うが。

椎名会長 まだ市内で栽培しているのか。

吉野課長 栽培している。

長瀬副会長 工業で水を使ってというのもあるが、水がきれいだからわさび栽培もできる、だから昭島は素晴らしい、という物語にしたらどうか。

吉野課長 産業活性課で「夢つなぎ人」という冊子を作成しており、これで水をPRし

ている。

椎名会長 公有地でわさび栽培ができるような場所はないだろうか。

吉野課長 湧水がどれだけ出るかによる。湧水が豊富でないと栽培できない。

長瀬副会長 ホタルの飼育もきれいな水がないとできない。

椎名会長 「食」のわさび、「楽しみ」としてのホタル、それから「産業誘致」といった水に関するプラスイメージの側面でも考えてもらえれば。

長瀬副会長 折角なので、一人ずつお話を。

椎名会長 何か意見があれば。

尾崎委員 市内の企業だが、会社の水道水の印象としてカルキが多い。建物も古いが水道管の問題か。

吉野課長 受水槽の問題では。

池谷部長 昭島の水道水は日本で一番塩素が少ないので、水自体に塩素臭いといったことはない。

椎名会長 今話を聞くと、企業の従業員が昭島のおいしい水を飲んでいるのか調査したほうが良いのではないか。おいしい水を共有できていない人が何%いる可能性があり、それを少なくするにはどうすれば良いかというのが一つの課題になる。

吉野課長 水道部では受水槽がどこで使用されているか把握している。

椎名会長 それを解決するのが民間の責任というのか、市が助成して減らしていくとするのかは、昭島市自体の考え。そこをきちんとしないと、昭島のおいしい水と言ってもそれを共有できていない人がいることになる。

安部委員 以前イベントで昭島の水のペットボトルを頂いたが、配布はやめたのか。販売はしないのか。

吉野課長 昭島の水は、元々販売していない。

池谷部長 我々は水を守る立場なので、基本的に商業ベースには乗せないというのが市の指針にある。市民もそれを望んでいる。

ペットボトルは一定量作成し、イベント等で配布している。無くなったときは配布できなくなり、次に作成したらまた配布している。

椎名会長 今ペットボトルは廃止の方向であり、マイボトルというのが出ている訳である。だから、マイボトルで市内どこでも給水できるシステムを作る必要がある。

### 3 報告

#### 【事務局による説明（要旨）】

（資料7、8、9 小沢係長による説明）

（資料2、10 小林係長による説明）

（資料3、4、5-①、5-②、6 光畑係長による説明）

各係長から担当事業の実績報告等を行い、併せて平成31年度の事業実施予定を説明した。

椎名会長 資料9の2枚目、手動薪割り機だが、これはチップとは違うのでは。

吉野課長 先に太い木を割ってからでないと、チップパーに入らないためである。

田中(近)委員 資料3、ごみ袋が大袋から中袋になったが、なぜ全て中袋になったのか。傘などが入らない。

吉野課長 今まで大袋の半分も入っていないまま出されることが多く、実際に袋がごみになっていた。このため袋を小さくした。通常は中袋で足りるのだが、中には大袋がほしいという方がいる。しかし、今は中袋しか作成していない。

椎名会長 袋のサイズが違くと、量の増減がわからないのでは。

池谷部長 大袋にしても中袋にしても、一人で持てるごみの量は大体同じになる。

椎名会長 そうすると、可燃ごみは大868袋から中706袋に減っている。資源ごみは大33袋から中53袋に量が大幅増えたことになるのか。

吉野課長 資源ごみはかさばるため。袋のサイズは大40リットル、中20リットルになる。

椎名会長 これからは毎年中袋で行ってもらいたい。

池谷部長 現在ボランティア袋は中袋しか作成していない。ボランティアの方より大袋だと大きすぎると沢山ご意見を頂いた。

椎名会長 それではこれからは中袋を基準として増減を評価することになる。去年と今年と比較にならない。

田中(近)委員 傘が捨ててあった場合はどうか。線路際は台風の後そのまま捨てていってしまふ。そういった時に大袋が良いと思ったのだが。

椎名会長 大きいものは紐で結わいて。傘などは比較ができるので、量を数えても良いかもしれない。

田中(近)委員 もう1点、自治会の高齢化が進んでおり、除草も業者をお願いするようになってきた。自分たちの部分以外の作業は大変だという意見が多く、若い人が参加しないため、今年は無理だという意見が出ている。

椎名会長 どこまでやるかは各自治会の判断ではないか。

池谷部長 民地の場合、除草に税金を使うことは不可。市有地は市が責任を持って実施する。

田中(近)委員 拝島二小に向かう松原立体だが、通学する子どものために草むしりをしている。都道なので街灯が切れているときは東京都へ連絡している。

椎名会長 個人的な判断だが、かなり大変なことなので、市と一緒に道路管理者の東京都へ申入れしたほうがよいのでは。

倉水委員 先日、神奈川県に出かけた際、そこは名水100選に選ばれており、駅を降りるとすぐ左に看板等が設置されていた。昭島市は名水100選に選ばれているのか。

吉野課長 湧水は東京都の名水に入っている。

倉水委員 それであれば、アピールして市民の身近なものにしてはどうか。

2つ目に工場について。以前、施設関係の仕事をしていたのだが、次の候補地の要件に必ず水が入る。水量は豊富にあるのか。

次に水質について。質の悪い水だと、工業用水として洗浄処理しなければならない。すると多額の処理費用がかかる。量が豊富できれいな水が欲しいというのが企業側の事実である。そういったことを勘案しながら昭島の水をもっと研究したらいいと思う。

市内でも塗料を使用している企業は水質を相当気にしているはず。水質が悪

いとすぐに塗装が剥がれてしまう。長持ちさせるために、きれいな水を多く使用したい。そうすれば有機溶剤も少量で済む。そういうことをもう少し学術的・科学的にアピールしてはどうか。小作にある工場も、不便なところでも経費を考えると水の処理費のほうが高いと。豆腐屋なども水を使うが、工場と比較すると規模が全然違う。こういったところで企業誘致できるのではないか。

- 椎名会長 こういったことの研究者はいないのか。
- 倉水委員 企業にはリスクがあるので、当然いる。
- 椎名会長 名水 100 選は昭島市が提唱して、全国の地下水を使用している場所の水道管理者の名水 100 選を作ってしまうえばいいのでは。
- 倉水委員 それには第 3 者の評価が必要。
- 椎名会長 外部から客観的に評価できるか、見える化をどうやって進めるかが重要。
- 池谷部長 水道水について、以前週刊誌が調査した日本の水道事業者の中で 1 位になっている。これは値段や塩素の量、安全性等を総合してのものである。
- 椎名会長 そういったランキングを第三者に作成させ、マスコミに載せれば良い。
- 倉水委員 市はやめてしまったが、ISOなどは第三者になる。
- 椎名会長 ランキング作成し、何年間か続ければ必ずマスコミは報道するだろう。そういったことを地道に続けることが必要かもしれない。
- 池谷部長 昭島市は飲料水としての地下水を市民に供給し、守る立場。それで企業誘致はしていない。企業側に見つけてもらう立場である。それによって地下水が減ってしまい、市民の飲料水に影響が出ては問題なので、水を商業ベースでは今のところ考えていない。
- 椎名会長 国分寺市も名水 100 選に選ばれているから、それなりの評価を得ている。そういったところも都市の魅力の一つになると思う。
- 倉水委員 谷川岳のイメージ。名水ではないがおいしい水だというのが伝わると、宣伝効果が出てくる。
- 椎名会長 だから駅前に施設を作り、市民にマイボトルを配布する。それがペットボトルの減量に繋がる。企業誘致といった話になると、本当に地下水は大丈夫なのかといった全体の話になってしまう。そこをうまく方向を定めていくと。昭島の環境では水は最大で永遠のテーマ。戦略的に進めたほうが良い。
- 田中(近)委員 以前、環境講座で都内の水道水と昭島の水道水それぞれに昆布をつけたところ、昭島の水のほうが出汁がよく出る結果になった。
- 椎名会長 食べ物目線でそういうことを検証していき、積み重ねて発表する。そういったことが必要だと思う。
- 田中(近)委員 他に利き水もやったが、楽しいことをしながらというのも良いと思う。
- 椎名会長 「アクア体験館」を作ればよい。
- 吉野課長 昨年度まで「エコプロ」に参加していたが、そこで利き水を実施していた。
- 椎名会長 事業を継続し、きちんとデータを取って検証したほうが良い。
- 吉野課長 環境緑花フェスティバルで水道部がPRを実施している。水については水道部・産業活性課・環境課が連携して取り組んでいる。
- 長瀬副会長 スカイツリーではないが、外から見えるものがあると人が集まるのだが。

池谷部長 財源の問題が有る。  
(小林係長より、資料 10 について説明。)

倉水委員 省エネ家計簿アプリは非常に良いと思う。市民のデータが集まったのならば、結果を市のパネルで公表してはどうか。

池谷部長 ごみの排出量を入力してもらえれば、市で集計できる。  
吉野課長 アプリにはごみの排出量も入っている。中袋換算で何袋出したかを入力してもらう。後は電気・ガス・水道・ガソリンを入力してもらうと、自動計算される。

倉水委員 後はそれを見える化すること。  
吉野課長 参加者は市域でどれ位、自分の住んでいる地域でどれ位かも見える。  
福永委員 PRは。  
吉野課長 先日広報に掲載した。後は市ホームページへ掲載した。  
椎名会長 前年同月と比較など、わかりやすいのが一番良い。  
吉野課長 前年同月の比較や、自分の世帯人数を入力すると同じような家族構成の人たちとの比較もできる。

椎名会長 パソコンの中だけで見られるのではなく、市役所へ来た参加していない人が見てもわかる、というのが必要。

吉野課長 市民ロビーで何かできないか検討してみたい。  
亀卦川委員 そのままの目的は何か。  
吉野課長 家庭で排出するCO2の削減を目的としている。  
亀卦川委員 そうすると、都民一人当たりの平均的な排出量と比較などの機能はあるのか。  
吉野課長 アプリを作成した業者が持っているデータとの比較ができる。  
亀卦川委員 学術的な目的で、大規模に収集するデータではないのか。  
吉野課長 同じシステムは小平市が使用している。  
亀卦川委員 昨年末に気候変動適応法が施行され、自治体が適応計画策定を義務付けられたが、昭島市の予定は。

吉野課長 皆さんの任期は6月30日までとなっているので、次期審議会では環境基本計画、水と緑の基本計画、地球温暖化対策実行計画、気候変動適応計画、生物多様性地域戦略の策定をしなければならない。本来、平成33年度までの計画だが、昭島市総合基本計画と期間を合わせるため、1年前倒しして策定することになった。平成31、32年度で策定し、33年度からの計画を作る形で予定している。5つの計画をまとめて1つにする。

倉水委員 ウッドチップの配布について、継続性はあるのか。将来のビジョンは。  
吉野課長 自宅の木を伐採したものをチップ化してあげるとというのがそもそもの考え。一般家庭で伐採したものを回収し、それを本人に還元するのが一番望ましいが、不要という方の分を配布する。在庫については街路樹や公園で剪定した分も含まれるので、毎年一定量が出るかもしれない。

倉水委員 自分は団地に住んでいるが、地域の森に古木が多く、処理費用がかかっている。団地の木をこういった形で使用できればと思ったのだが、そういった団地なども巻きこんで、需要と供給の検討をしても良いのではないか。

吉野課長 在庫については現在十分確保されている。また、ごみとして出されたものも清掃センターでまとめて保管し、チップ化している。ごみとして燃やさない

で再利用し、ごみの減量ということを目的としている。

倉水委員 是非継続していただきたい。

椎名会長 出荷量は恐らく毎年同じになるのでは。燃やさないことで温暖化対策や二酸化炭素削減に繋がってくるのだろう。

福永委員 乾燥させたものを配布しているが、用途によっては乾燥させていないものを配布しても良いのではないか。

吉野課長 機械が小さいので作成にそれなりの時間がかかることと、配布までに袋詰めするとカビが発生してしまう。そのため乾燥させている。

椎名会長 根はやめた方が良い。ナラタケモドキが蔓延しており、これは根でうつる。根で作ったチップを撒いたらナラタケモドキがうつって庭が全滅してしまう。それでなくても樹木の病気がうつる可能性が無いとは言えない。そういったことをリスクとして載せたほうが良いかもしれない。

吉野課長 サクラは細かいチップにして燻製用にしようかと考えている。

倉水委員 以前、足尾銅山に行ったことがあるが、あそこは現場でチップにしており、乾燥はさせず外の森に撒いていた。だから山で切り出した木は町に入っていない。そういう現場もあった。

椎名会長 軽いので、大雨の時排水溝に溜まり、溢水の原因になるので注意してほしい。

#### 4 その他

(流石主事より説明)

委員報酬の支払い予定について

#### 5 閉会

その他、特に意見がないため閉会する。